

令和6年度

出 資 団 体
監 査 報 告 書

八代市監査委員

八市監第416号

令和7年3月19日

八代市長 中村博生様

八代市議会議長 村川清則様

八代市教育長 中 勇二様

八代市監査委員 江崎 眞 通

八代市監査委員 上 原 治

八代市監査委員 北 園 武 広

出資団体監査の結果報告について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、出資団体監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果に関する報告書を提出します。

なお、本出資団体監査における指摘事項について措置を講じたときは、同条第14項の規定に基づき、その旨を通知願います。

目 次

○公益財団法人八代市学校給食会

1 監査の基準	3
2 監査の種類	3
3 監査の対象	3
4 監査の着眼点	3
5 監査の実施内容	3
6 監査の実施場所及び日程	4
7 対象団体の概要	4
8 監査の結果	5
9 意見・要望	5
参考資料	6

○さかもと温泉センター株式会社

1 監査の基準	11
2 監査の種類	11
3 監査の対象	11
4 監査の着眼点	11
5 監査の実施内容	11
6 監査の実施場所及び日程	12
7 対象団体の概要	12
8 監査の結果	13
9 意見・要望	13
参考資料	15

公益財団法人
八代市学校給食会

1 監査の基準

この監査は、八代市監査基準（令和2年八代市監査委員告示第1号）に準拠して実施した。

2 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく出資団体監査

3 監査の対象

- （1）団体の名称 公益財団法人八代市学校給食会（以下「学校給食会」という。）
- （2）所 管 課 教育政策課

4 監査の着眼点

監査においては、八代市監査基準に従い、対象の出資団体の出納その他の事務の執行が出資の目的に沿って行われているか、適正かつ効率的に行われているか。また、所管課の指導及び監督が適正に行われているかを主眼とし、次の事項を着眼点として実施した。

（1）団体に関する事項

- ・ 定款並びに経理規程等諸規程は整備されているか。
- ・ 設立目的（出資目的）に沿った事業運営が行われているか。
- ・ 決算諸表等は法令等に準拠して作成されているか。
- ・ 事業成績、財政状況は適正に決算諸表等に表示されているか。
- ・ 人件費の内容、金額は事業規模に比し適切か。
- ・ 関係帳票の整備、記帳は適切か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- ・ 会計経理及び財産管理は適切か。
- ・ 経済性・効率性・透明性の観点から適切な契約事務が行われているか。
- ・ 議事録は適正に作成されているか。

（2）所管課に関する事項

- ・ 出資による権利は財産台帳に登録され、決算書類に適正に表示されているか。
- ・ 出資者としての権利行使は適切に行われているか。
- ・ 出資団体の経営成績及び財政状態を十分把握し、適切な指導監督を行っているか。

5 監査の実施内容

（1）監査の範囲

令和3年度から令和5年度における出資に係る事務事業の実施状況。

なお、必要に応じて他年度の執行分も対象とした。

（2）監査の方法

上記（1）の事務を対象として、監査対象団体及び所管課から提出された事務事業の執行状況の資料及び関係書類について、事務局長等から説明を受け、関係諸帳簿及び証拠書類との照合による審査を行うとともに、関係職員から聴取・質疑を行った。

6 監査の実施場所及び日程

(1) 対象団体等の聴取・質疑

八代市役所本庁会議室及び監査委員事務局

(2) 実施日程

令和7年2月3日から令和7年2月20日まで

7 対象団体の概要

令和6年4月1日現在

名 称	公益財団法人八代市学校給食会
設 立 年 月 日	昭和58年4月1日（平成25年4月1日公益財団法人へ移行）
所 在 地	熊本県八代市島田町1291-1
資 本 金	500万円
出 資 額	500万円（出資比率100%）
役 員・職 員	会長 中 勇二 理事 7人 評議員 8人 監事 1人 職員 97人（正職員 54人、臨時職員 43人）
設 立 の 目 的	学校教育活動の一環として行われる学校給食の適正円滑な運営を図り、もって児童生徒の心身の健全な発達に資することを目的とする。
事 業 内 容	（1）学校給食の調理及び配送に関する事業 （2）学校給食用物資の調達に関する事業 （3）学校給食の普及充実に必要な事業 （4）その他法人の目的を達成するため必要な事業

学校給食調理数の状況

単位：食

年 度 調理場	令和3年度	令和4年度	令和5年度
麦島学校給食センター	1,145	1,105	1,069
南部学校給食センター	1,192	1,191	1,186
西部学校給食センター	2,786	2,768	2,715
中部学校給食センター	2,349	2,381	2,366
代陽小学校	669	660	647
合 計	8,141	8,105	7,983

8 監査の結果

学校給食会の事業運営について、設立目的に沿っておおむね適正に行われていると認められた。

なお、監査の際に見られた事務処理上留意すべき簡易な事項については、口頭で改善の要望を行ったので記述を省略するが、改善を図っていただきたい。

9 意見・要望

今回の監査においては、前述のとおり出資目的に沿った事業運営が概ね適正に行われていた。

今後も、児童生徒の心身の健全な発達に資するため、継続した安心安全な学校給食の運営に努めていただきたい。

なお、学校給食会では、半数を超える正職員が50代以上となり、職員構成では正職員と臨時職員の割合がおおむね5：5となっていることから、正職員の高齢化と若手への技能継承が喫緊の課題となっている。今後、所管課とともに検討を行い、事業継続のための適正な職員定数や臨時職員の割合を定め、具体的な採用計画を策定し、職員の確保に努めていただきたい。

参考資料

正味財産増減計算書（収支決算書）

（単位：円）

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	100	100	100
基本財産受取利息	100	100	100
② 事業収益	407,017,012	406,775,119	419,007,348
物資代金収益	405,496,390	405,289,750	417,510,640
共同調理場運営費収益	1,520,622	1,485,369	1,496,708
③ 受取補助金	278,855,046	281,607,843	275,225,219
受取地方公共団体補助金	278,755,046	281,445,343	275,062,719
受取事業共催負担金	100,000	162,500	162,500
④ 雑収益	1,769,445	1,264,767	1,662,481
受取利息	1,035	1,125	1,095
雑収入	1,768,410	1,263,642	1,661,386
経常収益計	687,641,603	689,647,829	695,895,148
(2) 経常費用			
① 給食材料費	403,184,807	408,443,885	422,012,803
物資代金	401,614,298	406,741,787	420,325,722
共同調理場運営費	1,570,509	1,702,098	1,687,081
② 給食事業費	265,497,544	267,040,400	260,346,334
給料手当	152,010,019	152,747,923	152,928,179
賃金	64,278,770	64,684,901	58,427,292
福利厚生費	40,074,314	40,325,780	39,645,782
旅費	17,540	54,840	48,980
消耗品費	8,902,971	8,875,996	8,939,966
負担金	109,760	232,325	262,393
手数料	104,170	118,635	93,742
③ 管理費	14,834,418	15,543,914	16,052,006
委託料	420,000	420,000	420,000
給料手当	10,616,700	10,989,745	11,138,322
福利厚生費	1,948,374	1,986,759	1,987,218
会議費	23,114	21,320	23,142
旅費	36,000	30,000	92,660
通信運搬費	102,966	118,984	98,008
消耗品費	161,785	161,409	161,612
修繕費	53,460	167,979	70,367
印刷製本費	59,400	57,860	274,175
燃料費	39,140	33,322	30,920
賃借料	531,684	724,808	723,528
保険料	385,110	380,130	338,550
公課費	34,200	49,600	39,900
負担金	57,653	47,500	62,500
雑費	364,832	354,498	591,104
④ 普及充実事業費	102,850	152,036	364,150
通信運搬費	0	6,825	8,610
消耗品費	0	25,759	99,675
印刷製本費	102,850	89,452	98,175
賃借料	0	0	127,180
諸謝金	0	30,000	30,510
経常費用計	683,619,619	691,180,235	698,775,293
当期経常増減額	4,021,984	△ 1,532,406	△ 2,880,145
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
未収金回収不能額（貸倒損失）	69,777	72,619	88,634
経常外費用計	69,777	72,619	88,634
当期経常外増減額	△ 69,777	△ 72,619	△ 88,634
当期一般正味財産増減額	3,952,207	△ 1,605,025	△ 2,968,779
一般正味財産期首残高	11,723,368	15,675,575	14,070,550
一般正味財産期末残高	15,675,575	14,070,550	11,101,771
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	5,000,000
III 正味財産期末残高	20,675,575	19,070,550	16,101,771

参考資料

貸借対照表

(単位：円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金 (一般)	17,069,720	27,171,611	40,432,520
普通預金 (事業)	33,785,118	38,246,879	22,362,255
普通預金計	50,854,838	65,418,490	62,794,775
未収金 (一般)	1,510,594	1,363,946	1,517,860
未収金 (事業)	6,306,974	4,715,857	12,822,850
未収金計	7,817,568	6,079,803	14,340,710
流動資産合計	58,672,406	71,498,293	77,135,485
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	5,000,000
(2) その他の固定資産			
車両運搬具	2	2	2
その他の固定資産合計	2	2	2
固定資産合計	5,000,002	5,000,002	5,000,002
資産合計	63,672,408	76,498,295	82,135,487
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金 (一般)	13,596,208	23,551,451	36,966,274
未払金 (事業)	29,400,625	33,876,294	29,054,180
未払金計	42,996,833	57,427,745	66,020,454
預り金	0	0	13,262
流動負債合計	42,996,833	57,427,745	66,033,716
負債合計	42,996,833	57,427,745	66,033,716
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	5,000,000	5,000,000	5,000,000
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(5,000,000)
2. 一般正味財 (一般)	4,984,108	4,984,108	4,984,108
(事業)	10,691,467	9,086,442	6,117,663
	15,675,575	14,070,550	11,101,771
正味財産合計	20,675,575	19,070,550	16,101,771
負債及び正味財産合計	63,672,408	76,498,295	82,135,487

さかもと温泉センター 株式会社

1 監査の基準

この監査は、八代市監査基準（令和2年八代市監査委員告示第1号）に準拠して実施した。

2 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく出資団体監査

3 監査の対象

- （1）団体の名称 さかもと温泉センター株式会社（以下「さかもと温泉センター」という。）
- （2）所 管 課 坂本支所地域振興課

4 監査の着眼点

監査においては、八代市監査基準に従い、対象の出資団体の出納その他の事務の執行が出資の目的に沿って行われているか、適正かつ効率的に行われているか。また、所管課の指導及び監督が適正に行われているかを主眼とし、次の事項を着眼点として実施した。

（1）団体に関する事項

- ・ 定款並びに経理規程等諸規程は整備されているか。
- ・ 経営成績及び財政状況は良好か。
- ・ 決算諸表等は法令等に準拠して作成されているか。
- ・ 人件費の内容、金額は事業規模に比し適正か。
- ・ 収益率、財務比率など経営成績及び財政状態は良好か。
- ・ 関係帳票の整備、記帳及び領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- ・ 会計経理及び財産管理は適切か。
- ・ 経費節減は図られているか。

（2）所管課に関する事項

- ・ 出資者としての権利行使は適切に行われているか。
- ・ 出資団体の経営成績及び財政状態を十分把握し、適切な指導監督を行っているか。

5 監査の実施内容

（1）監査の範囲

令和3年度から令和5年度における出資に係る事務事業の実施状況。

なお、必要に応じて他年度の執行分も対象とした。

（2）監査の方法

上記（1）の事務を対象として、監査対象団体及び所管課から提出された事務事業の執行状況の資料及び関係書類について、センター長から説明を受け、関係諸帳簿及び証拠書類との照合による審査を行うとともに、関係職員から聴取・質疑を行った。

6 監査の実施場所及び日程

(1) 対象団体等の聴取・質疑

八代市役所本庁会議室及び監査委員事務局

(2) 実施日程

令和7年2月3日から令和7年2月20日まで

7 対象団体の概要

令和6年4月1日現在

名 称	さかもと温泉センター株式会社
設 立 年 月 日	平成8年4月1日
所 在 地	熊本県八代市坂本町川嶽1091
資 本 金	8,645万円
出 資 額	6,000万円（出資比率69.4%）
役 員・職 員	代表取締役社長 福島 誠治 取締役副社長 鶴堀 直人 取締役 3人 監査役 2人 職員 23人（正職員 6人、臨時職員 17人）
設 立 の 目 的	公衆浴場・飲食店の経営、農産物・物品等の販売、会議・休憩施設の管理運営を営むことを目的とする。
事 業 内 容	《指定管理事業》 公衆浴場の経営、農産物・物品等の販売 《指定管理事業以外》 飲食店の経営

経営成績の状況

単位：円

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 益	100,633,067	95,027,650	100,140,086
費 用	99,553,194	107,847,343	106,191,688
当期純利益	1,079,873	△12,819,693	△6,051,602
利益剰余金	△68,230,893	△81,050,586	△87,102,188

8 監査の結果

さかもと温泉センターの事業運営について、設立目的に沿っておおむね適正に行われていると認められたが、一部に改善すべき事項が見受けられたので以下に記述する。

指摘事項について、措置を講じた場合には、地方自治法第199条第14項の規定に基づき、その旨を通知いただきたい。

なお、監査の際に見られた事務処理上留意すべき簡易な事項については、口頭で改善の要望を行ったので記述を省略するが、指摘事項と同様に改善を図っていただきたい。

(1) 団体に関する指摘事項

取締役会規則、組織規程、経理規程及びさかもと温泉センター組織図等について、実態にそぐわないものが散見された。

組織内の役割に応じて効率的に業務を行うために、実態に即した各種規則、規程等を作成し、基礎となる基準や手順を明確化しておくべきであるとともに、それらで規定する項目や内容は、時代の傾向や価値観の変遷に合わせて最新の状態に更新していかなければならない。

早急に各種規則等の整備、再点検を実施し、ルールに基づいた適切な事務を行っていただきたい。

(2) 所管課に関する指摘事項

さかもと温泉センターの取締役会規則、組織規程、経理規程及びさかもと温泉センター組織図等について、実態にそぐわないものが散見された。

規程等の整備について指導助言等を行っていただきたい。

9 意見・要望

さかもと温泉センターの令和3年度から令和5年度までの3年間の財務状況を見ると、令和3年度決算では、コロナ禍及び災害による売上減少に対する八代市との協定に基づく補償金や全国の道の駅からの義援金等により1,080千円の当期純利益が出たものの、以降は赤字経営が続き、令和5年度末の繰越利益剰余金は△87,102千円で、危機的な状況にある。

利用者数の回復に向けた誘致活動に取り組まれているが、令和2年7月豪雨災害による国道219号線の交通規制が続いており、しばらくは利用者の大幅な増加は見込めないものと推測される。豪雨災害からの復興途中であり、将来を見越すことが難しいことは理解できるが、中長期の事業計画が策定されないままに法人経営がなされている現状にある。

第三セクターの経営は、独立した事業主体として自らの責任で事業が遂行されるべきものであり、国が示す「事業についての予備的診断」においては、事業計画どおりの赤字か、事業計画どおりの累積欠損かといった判定項目が設けられていることから、事業計画の策定が強く求められているといえる。

出資者に対する経営責任を果たすためにも、中長期の経営計画を策定し、計画に対する進捗状況を明らかにするよう努め、累積赤字の解消と経営の安定化を図っていただきたい。

所管課にあつては、法人の規程の内容と実際の運用とが整合していない部分が数多く見受けられたため、規程の改正への助言を速やかに行っていただきたい。

第三セクターという経営手法は、民間の経営ノウハウを適切に活用し、地域の特産品の製造・販売、観光施設等の経営、地域おこしに関わるイベントの企画等に取り組むこと等を通じて、収益を住民サービスに還元することができれば、産業振興、地域活性化等に取り組むための有効な手法となる。さかもと温泉センターが行う事業の公共性、公益性、採算性及び将来見通し等を十分に精査し、「存続（事業継続）の前提となる条件」の明確化に取り組むことが望ましい。そのうえで、経営改善に向けた適時的確な権利行使と指導監督を行っていただきたい。

参考資料

さかもと温泉センター株式会社 決算報告 【令和3年度】

損益計算書 (自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日 (単位:円)

科 目	金 額	(円)
【売上高】		32,783,770
【売上原価】		
期首商品棚卸高	469,642	
仕入高	10,515,066	
合 計	10,984,708	
期末商品棚卸高	623,538	10,361,170
売上総利益		22,422,600
【販売費及び一般管理費】		88,966,523
営業損失		66,543,923
【営業外収益】		
受取利息	378	
雑収入	67,844,919	67,845,297
【営業外費用】		
雑損失	16,945	16,945
経常利益		1,284,429
【特別利益】		
固定資産売却益	4,000	4,000
税引前当期純利益		1,288,429
法人税、住民税及び事業税		208,556
当期純利益		1,079,873

貸借対照表 令和4年3月31日 現在 (単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 30,808,176 】	【流動負債】	【 14,618,604 】
現金	1,329,973	買掛金	883,777
預金合計	22,476,651	未払金	7,952,901
売掛金	37,563	未払金(受託)	1,791,589
商品	623,538	未払法人税等	208,500
貯蔵品	219,768	前受金	51,000
立替金	12,900	預り金	124,297
未収入金	6,095,213	預り入湯税	144,300
仮払金	12,570	短期リース債務	2,003,040
【固定資産】	【 6,944,015 】	未払消費税等	1,459,200
[有形固定資産]	[6,802,081]	【固定負債】	【 3,415,480 】
付属設備	38,230	長期リース債務	3,415,480
構築物	19,262	負債合計	18,034,084
機械装置	45,523	純 資 産 の 部	
車両運搬具	416,670	【株主資本】	【 19,718,107 】
器具備品	665,438	資本金	86,450,000
リース資産	5,548,391	[利益剰余金]	[△ 66,731,893]
一括償却資産	68,567	利益準備金	1,499,000
[無形固定資産]	[141,934]	(その他利益剰余金)	(△ 68,230,893)
電話加入権	141,934	繰越利益剰余金	△ 68,230,893
		純資産合計	19,718,107
資産の部計	37,752,191	負債・純資産の部計	37,752,191

参考資料

さかもと温泉センター株式会社 決算報告 【令和4年度】

損益計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	(円)
【売上高】		39,606,740
【売上原価】		
期首商品棚卸高	623,538	
仕入高	12,036,976	
合 計	12,660,514	
期末商品棚卸高	671,366	11,989,148
売上総利益		27,617,592
【販売費及び一般管理費】		95,619,883
営業損失		68,002,291
【営業外収益】		
受取利息	334	
雑収入	55,420,576	55,420,910
【営業外費用】		
雑損失	29,762	29,762
経常損失		12,611,143
税引前当期純損失		12,611,143
法人税、住民税及び事業税		208,550
当期純損失		12,819,693

貸借対照表

令和5年3月31日 現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 18,028,436 】	【流動負債】	【 13,632,043 】
現金	1,509,716	買掛金	980,329
預金合計	15,398,024	未払金	6,556,288
売掛金	66,700	未払金(受託)	1,697,527
商品	671,366	未払法人税等	208,500
貯蔵品	299,268	前受金	112,000
未収入金	83,362	預り金	104,697
		預り入湯税	161,350
		短期リース債務	1,855,152
【固定資産】	【 5,258,049 】	未払消費税等	1,956,200
[有形固定資産]	[5,116,115]	【固定負債】	【 2,756,028 】
付属設備	32,802	長期リース債務	2,756,028
構築物	17,163	負債合計	16,388,071
機械装置	30,351	純資産の部	
車両運搬具	4	【株主資本】	【 6,898,414 】
器具備品	336,140	資本金	86,450,000
リース資産	4,665,371	[利益剰余金]	[△ 79,551,586]
一括償却資産	34,284	利益準備金	1,499,000
[無形固定資産]	[141,934]	(その他利益剰余金)	(△ 81,050,586)
電話加入権	141,934	繰越利益剰余金	△ 81,050,586
		純資産合計	6,898,414
資産の部計	23,286,485	負債・純資産の部計	23,286,485

参考資料

さかもと温泉センター株式会社 決算報告 【令和5年度】

損益計算書

(自) 令和5年4月1日

(至) 令和6年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	(円)
【売上高】		37,081,633
【売上原価】		
期首商品棚卸高	671,366	
仕入高	11,027,020	
合 計	11,698,386	
期末商品棚卸高	753,902	10,944,484
売上総利益		26,137,149
【販売費及び一般管理費】		93,739,634
営業損失		67,602,485
【営業外収益】		
受取利息	198	
業務受託収入	58,568,140	
雑収入	4,190,116	62,758,454
【営業外費用】		
雑損失	1,032,282	1,032,282
経常損失		5,876,313
【特別利益】		
固定資産売却益	299,999	299,999
【特別損失】		
固定資産除却損	266,760	266,760
税引前当期純損失		5,843,074
法人税、住民税及び事業税		208,528
当期純損失		6,051,602

貸借対照表

令和6年3月31日 現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	14,530,565	【流動負債】	15,062,189
現金	2,095,461	買掛金	718,597
預金合計	10,040,076	未払金	9,065,800
売掛金	25,600	未払金(受託)	1,154,737
商品	753,902	未払法人税等	208,500
貯蔵品	337,126	前受金	151,400
前渡金	58,100	預り金	685,407
未収入金	1,220,300	預り入湯税	187,700
【固定資産】	4,200,476	短期リース債務	1,116,948
[有形固定資産]	4,058,542	未払消費税等	1,773,100
付属設備	28,145	【固定負債】	2,822,040
構築物	15,293	長期リース債務	2,822,040
機械装置	15,179	負債合計	17,884,229
車両運搬具	3	純資産の部	
器具備品	128,709	【株主資本】	846,812
リース資産	3,783,359	資本金	86,450,000
一括償却資産	87,854	[利益剰余金]	△ 85,603,188
[無形固定資産]	141,934	利益準備金	1,499,000
電話加入権	141,934	(その他利益剰余金)	△ 87,102,188
		繰越利益剰余金	△ 87,102,188
		純資産合計	846,812
資産の部計	18,731,041	負債・純資産の部計	18,731,041